

# 2022年4月3日 主日礼拝 〈誕生祝福式〉

司 会  
祈 禱  
奏 楽

賛 美 聖歌480番「輝く日を仰ぐとき」  
(感謝しつつ主の門に)(栄光から栄光へと)

主の祈り

聖 書 ①② ヨハネによる福音書18章33～38節 (P173)  
③ 詩篇34篇1～10節 (P775)

音 楽 永楽教会ホサナ聖歌隊(V)

誕生祝福式

メッセージ ①② 「狂人か、超人か？」 小林詩音副牧師  
③ 「逃亡者ダビデと大石内蔵助くらのすけの狂ったさま」  
大川従道主任牧師

賛 美 「歌いっつ歩まん」(聖歌498番) 献金

頌 栄  
祝 禱 「神様感謝します！」アーメン

「主の恵みふかきことを味わい知れ、  
主に寄り頼む人はさいわいである。」

(詩篇二十四の八)

## 【大和ニュース】

☆春を迎えました。明るく。元気で。のびのびと、前進しましょう！

- \* 総会が終了し、新役員が決定しました。お祈り下さい。(敬称略)  
大川(代表役員)、坪井(副牧師代表)、三畑(長老)、倉知、丸藤、森屋、小林、川田、熊谷、秋田、仲村、白鳥、波木井。以上13名。
  - \* 遠藤姉、野口姉、土屋兄、2年間のご奉仕ありがとうございました。  
監査役の朝倉兄、岸兄にも大感謝です。
  - ・ 本日、Zoomカレブ会、Zoomバルナバ会(14時)、J. Plus合同集会(14時半)、第4礼拝(18時)。
  - ・ 今週の祈禱会は、説教は久保田副牧師、証人は福地姉。水曜夜と木曜朝。
  - ・ 大川牧師夫妻は、10日朝、瀬戸カルバリーの記念礼拝で御聖務されます。
  - ・ 先週の礼拝は1352人(内 YouTube ライブ862人)。祈禱会は384人(内 YouTube ライブ235人)
- ☆ご婚約おめでとう！小西様と石塚様。第3礼拝直後。泉チャペルにて。

公告 法人登記簿謄本記載事項変更と関西カルバリーフェローシップ会堂建設  
のための銀行借り入れについて※詳細はロビー掲示板の公告をご覧ください。

## 石の枕

桜花咲きかも散ると見るまでに誰かもここに見えて散り行く  
（『万葉集』 巻12、3129 柿本人麻呂歌集）

[現代語訳] <桜の花が咲いては散るのかと、そんなふうに見えるほどに、ここに現れては散り散りになって行くのは誰なのだろうか>

旅の途中で集まり、またばらばらに去って行く名も知らぬ旅人たちを、まとまって咲いては散っていく桜の花にたとえている。一期一会の旅の出会いと別れを詠(うた)う歌なのだが、その光景に人の世の儚(はかな)さをも思わせる深みがある。

(これは、詩人であり翻訳家のピーター・マクミランというアイルランドの秀才の文で、1年前に、新聞に掲載されていたものを、私が花を咲かせている。)

病身の母が、昨年他界した。私は国に戻って葬儀に参列し、弔辞を捧げた。母は生前、自分の葬儀では年齢と同じ数の風船を空に飛ばすようにと語っていたため、葬儀の終わりには88個の青い風船が冬の空に解き放たれ、飛び去っていった。優美で華やかな、最後の別れだった。葬儀の参列者がすべて立ち去ったあとも私はその場に残り、冷たい土の中でひとり横たわる母のことを考え、拙い句を詠んだ。「みな去りて母の眠れる霜の下」。人々が葬儀に集い、そしてまた去って行く様子に、今日の歌が思い起こされた。慰められるとともに、さらに深い悲しみが募った。

「うらを見せ、おもてを見せて散る紅葉」。私の心に去来していることばである。知って犯した罪も、知らずに犯した罪も、不従順も、不信仰も、神の前にはバレバレである。謙遜に平伏して、たえず悔い改めて、自分の心を整え、きよめて、主の前に立つ備えをしたいものである。

土葬でも、火葬でも、100個の風船を空に飛ばしても、救い主イエス様の十字架の恵みをぬきには、永遠の平安はない。本気で死を意識したら、日々の生に主なる御方を迎えざるを得ない。詩篇23篇4節。「インマヌエル・アーメン!!」

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ルカ9章~12章 Bコース:士師記10章~サムエル記上3章